

平成28年度 長岡市三島郡教育課程部 活動報告

部長 木澤 弘

1 研究の方針

長岡市三島郡では、「長岡市三島郡学校教育研究協議会」を組織し、小・中・総合支援学校等の教職員が、教科・領域を合わせて20の単位研究会に分かれて研究実践を進めている。この組織の中に「教育課程」部会は設けられていないため、今年度の県小教研「学習指導改善調査」の協力校の研究実践等を通して、教育課程研究を深める。

2 研究の概要

県小教研「学習指導改善調査」の協力校等は次のとおりである。

- | | | |
|----------------|------------|-------------|
| (1) 協力校（2年継続） | 関原小学校（2年目） | 栃尾東小学校（2年目） |
| (2) データ校（2年継続） | 大島小学校（1年目） | 栖吉小学校（1年目） |
| (3) 協力者（1年間） | 川崎小学校 | 比護 紀子 教諭 国語 |
| | 豊田小学校 | 笠井 悠 教諭 国語 |
| | 神田小学校 | 高山 史 教諭 算数 |
| | 希望が丘小学校 | 神林 一平 教諭 算数 |

3 研究の実際

「学習指導改善調査」協力校である関原小学校と栃尾東小学校の研究主任が、長岡市三島郡小学校長会研修会において研究実践の概要を報告した。以下、その報告を紹介する。

(1) 関原小学校の研究実践

- ① 1年次の成果と課題
 - ・見通しをもたせる指導が意欲の向上につながった。
 - ・「関わり」に焦点を当てることで、自信がもてたり気づきが深まったりした。
- ② 2年次研究主題 「意欲的に学び、自分の考えを表現できる子どもの育成
～ペア学習、グループ学習のよりよい関わり合い方を探る～」
- ③ 授業研究のポイント
 - ・関わり合いを仕組む
 - ・国語、算数に特化する
- ④ 校内研修の進め方
 - ・一人1回の授業公開
 - ・小中連携による授業公開を年2回
- ⑤ 研究の成果
 - ・話形の提示などの教師の手立てが、活発な話し合いに結び付いた。
 - ・友達との関わりから、学びを確認することができた。
 - ・関わり合いを支える基礎基本が定着した。
- ⑥ 今後の方向
 - ・関わり合いの質の向上
 - ・表現力の育成

(2) 栃尾東小学校の研究実践

- ① 研究主題 「主体的に文章の構成や表現をとらえ、自分の表現に生かす子どもの育成」
- ② 授業改善の方向
 - ・説明的文章の構成を学ばせ、自らの表現に生かす学習を展開
 - ・総合的な学習や特別活動等との関連を図った国語科の単元開発
 - ・授業における課題設定の仕方や対話的な学習形態の工夫
- ③ 単元レベルでの改善
 - ・単元構成の仕方の工夫
 - ・単元ナビゲーションの活用
- ④ 授業レベルでの改善
 - ・子どもが自分の考えの根拠や理由を考える授業
 - ・対話により思考が深まり広がる授業
 - ・目標に対する自己評価の積み上げができる授業
- ⑤ 成果
 - ・単元ナビゲーションの活用等により、学習への主体的な姿を具現できてきた。
 - ・対話等により、子どもが事実や理由を考え明確にすることができてきた。
- ⑥ 課題
 - ・メモを文章に書き表す過程での指導の工夫
 - ・対話活動の日常化